



飲酒運転追放



ハンドルキーパー運動

ハンドルキーパー運動とは

「お酒を飲む会合や催し物などに出席する際、あらかじめお酒を飲まない人を指定しておき、指定された人はワッペンなどの目印をし、お酒を一切飲まずに、同席者を無事に自宅まで送り届ける」

もので、現在全国で展開されている**飲酒運転追放運動**です。

祭事や催し物、生活の中の節目にお酒を飲むという風習は、長い歴史を通じて日本人の文化の中に浸透しているもので、それ自体は決して悪いことではありません。

ただ、飲酒をした上で車を運転することは非常に危険であることも間違いのない事実です。

要は、少しでもお酒を飲んだら絶対に車を運転をしないという「けじめ」をつけることが大切なのです。

西海警察署・交通安全協会は
ハンドルキーパー運動
を推進しています



西海警察署・西海地区交通安全協会

